

読書活動推進へ向けた取組

1 学校の概要（令和6年5月1日現在）

- (1) 所在地 福島県二本松市下長折字真角13番地
- (2) 学級数・生徒数 学級数 2 生徒数 20名
- (3) 学校図書館の蔵書数 6,551冊

2 取組内容

- (1) 生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境への一層の充実へ向けた取組

① 図書館入口への掲示

図書館入口に新刊案内や図書に関連するニュースを掲示し、図書館へ足を運ぶ動機づけとしている。



カウンター前にその時期おすすめの本を掲示



図書館へ向かう廊下にも工夫



図書館内のドア

② 雑誌の分架

逐次刊行物の中でも特に生徒に人気のものは、生徒が授業前後の移動でよく通る保健室前投下に分架している。アニメ関連雑誌やファッション雑誌、料理雑誌等が人気で、バックナンバーを探しに図書館へ来る生徒もいる。教員も手に取ることが多い。

③ 生徒の手作りPOP

過去の授業で課題として課されたPOPや、図書委員が作成したPOPを本の紹介として活用している。図書委員会の予算で簡易な額縁などを準備し、目立たせたり、カウンター前のおすすめ本と一緒に掲示したりすることで、生徒たちの目に留まる工夫をしている。



生徒作成のPOP一部



額装して図書と一緒に掲示



保健室前の雑誌架

④ 癒しの音楽



司書私物の音楽プレーヤー

司書が厳選したクラシックやジャズを静かな音量で流している。読書にいざなわれるような雰囲気を出しており、生徒・教員にも好評である。

(2) 学校における読書を通じた読書習慣の定着を図る取組

① 授業や課題研究、進路活動での活用

国語科を中心に授業で図書館を活用している。授業で扱った教材に関する本の貸し出しなど、学習内容の理解を深める手助けとなっている。また「総合的な探究の時間」の課題研究においても、図書館の資料を活用している。また3学年と協力し、就職活動時の面接で「最近読んだ本」答えられるように、貸し出しを行った。進路に役立つような資料を、司書が選定し、楽しく本を選べるように工夫している。



進路に役立つ図書のコナー

(3) 読書活動の質の向上に向けた取組

① 地域関連本コーナー

郷土の文化史に関する資料が豊富にそろっており、地域関連本コーナーとして開架している。「総合的な探究の時間」で地域のことをテーマに研究をしたグループは、このコーナーで司書から地域のことについて詳しくインタビューも行った。



ゆったり資料を探せるスペース

(4) その他、読書活動推進へ向けた取組

① 「PRB (POP Recommend Books) 3校リーグ」

「POPでキミの『イチオシ』の本を紹介しよう!」と題して、安達・二本松実業・本宮の3校の図書委員でPOPを作成した。

② 本のリクエスト承ります

学校司書が地域の図書館に定期的に赴き、書架の借り入れを行っている。調べ学習で学校の図書館に探している本がなく、司書が地域の図書館から借りてきたこともある。生徒や教員からのリクエストがあれば、県立図書館等も活用し様々な資料を準備・提供する。